

1. 件名

AI 技術関連研究開発成果の社会実装までの課題整理と課題解決手法の検討調査

2. 背景・目的

我が国では生産性向上や技能伝承等の観点から AI 技術の導入促進を掲げているが、例えば資金や人材の余裕が少ない中小企業では AI 技術の導入を阻むいくつかの課題が残っているなど、AI 技術の導入がなかなか進んでいない。

本調査では、AI 技術の導入、社会実装の一層の促進を目的として、AI 技術を導入すべき企業や AI 技術を導入したいと考えている企業をターゲットとして設定し、NEDO の研究開発事業の成果を題材として、業界の分野ごとに、ターゲットに対する効果的な情報発信の仕方や内容を調査すると共に、この目的を達成するための NEDO が実施すべき継続性のあるアプローチ方法の検討を行い、AI 技術に係る NEDO 事業成果の発信指針としてまとめる。また、この目的を達成するために NEDO に求められる機能や期待される役割等の提言を行う。

3. 内容

内容は以下の通りとする。

なお、詳細な実施内容については、NEDOとの協議により決定し、進めることとする。

1) 調査概要

本調査の実施にあたっては、ターゲット層に合致する企業、NEDO プロジェクトの実施者、プロジェクトを推進する NEDO 担当者等へのヒアリングまたは意見交換を通じて実態把握を行うものとする。また、本発信指針の有効性検証のため、実際にパンフレット等の広報物を作成し配付するなど、調査事業期間内に試行的に広報活動を実施する。

2) 調査方法等

各種関連資料等の収集・分析や、有識者・メーカ・ユーザ、NEDO 関係者へのヒアリングにより必要な情報収集を行う。NEDO は、可能な限り有識者等ヒアリングに参加する。上記目的達成に向け、情報を補完する調査項目を追加することは妨げない。その他、NEDO から要請があった場合は、協議のうえ、可能な限り反映すること。

以上の実施内容について、NEDO 担当者に対し対面またはオンライン会議等によりひと月に 1 回程度の進捗報告を行うこと。

具体的な調査内容は以下の通りとする。

① AI 技術を普及するために課題となる要因を調査

- ・AI 技術の普及を進めるうえで課題となっている要因について調査を実施する。調査にあたっては、提案者による情報収集やヒアリングのほか、NEDO プロジェクトの関係者等と

の議論を踏まえて要因を整理すること。

- ロボット・AI 部での AI 関連プロジェクトにおける研究成果内容を取りまとめ、情報発信可能な内容について情報収集を行う。AI 関連プロジェクトとは、少なくとも下記の4つのプロジェクトを含むこと。
 - － 次世代人工知能・ロボットの中核となるインテグレート技術開発
 - － 人工知能技術適用によるスマート社会の実現
 - － 人と共に進化する次世代人工知能に関する技術開発事業
 - － 人工知能活用による革新的リモート技術開発
- プロジェクトを構成する複数のテーマの中から情報発信すべき対象テーマを選定し、業界の分野ごとに、情報提供を受ける側の視点に立ち、提供すべき内容を設定する。テーマの選定にあたっては、AI 技術の普及を進めるうえでの課題となっている要因について整理した結果を踏まえて行うこと。なお、情報提供先は、少なくとも中小企業を含むものとする。
- 情報提供する内容、情報提供先を選定する際には、NEDO の HP 上にある刊行物のほか、ターゲット層に合致する企業、上記 AI 関連プロジェクトの NEDO プロジェクト実施者、プロジェクトを推進する NEDO 担当者、プロジェクトマネージャー等へのヒアリングまたは意見交換等の手段により情報を得て、設定すること。

② ①で調査した課題を踏まえたアプローチ方法の検討

- 研究開発成果が効果的に利活用されるよう、情報源から得られた情報・成果を発信する手段、公報媒体に関する情報を収集し、効果的な方法として情報を整理・分析し、取りまとめること。
- 公報媒体として少なくとも展示会等で配付可能なパンフレット（印刷物）や Web で公開可能な電子データを含めること。
- 分析にあたっては、客観性を担保すべく評価軸を適正に設定する等評価指針を策定したうえで行うこと。
- また、整理・取りまとめにあたっては、NEDO 担当者との協議すること。

③ 情報発信

- ②までに取りまとめた内容を踏まえ、実際に情報発信を行う。
- 情報発信先に際しては、少なくとも NEDO の HP、NEDO が関連した展示会を含むこと。

④ アプローチの効果測定

- ③までに取りまとめた情報発信ターゲット、発信内容、公報媒体などアプローチの効果を測定し、AI 研究成果の社会実装促進の観点で提言をまとめること。あわせて、NEDO が AI 技術を普及するための課題解決に貢献するうえで求められる機能や期待される役割等の提言を行うこと。

4. 業務期間

NEDO が指定する日から 2024 年 3 月 31 日まで

5. 予算金額

2,000万円以内

6. 最終報告書

提出方法：「成果報告書・中間年報の電子ファイル提出の手引き」に従って提出のこと

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

なお、調査報告書をまとめるにあたっては以下の点に留意すること。

- 1) 3. 2) ②については、印刷物（A4サイズ、両面フルカラー印刷）及び電子データ（原稿ファイル、PDFファイル（高解像度版、Web公開版）、印刷用のPDFファイル、及び元データとなるイラストレーター等のデータファイル）を納品すること。なお、印刷部数については別途NEDOと協議のうえ、決定すること。
- 2) 電子データについては、目次や索引から各ページへ遷移できるハイパーリンクの付与等、電子データならではの利用者向けの利便性を高める工夫を盛り込むこと。

7. その他

- 1) 委託期間中または委託期間終了後に、成果報告会における報告を依頼することがある。
- 2) 委託業務を受託して得られた成果（中間を含む）を発表若しくは公開しようとするときは、それを行おうとする日（ただし、発表または公開に先立ち原稿等の締切日がある場合は、その締切日）以前に、NEDO及び関係機関と十分な協議を行うこと。

以上